

(公社)日本地すべり学会 新潟支部
平成 29 年度第 8 回幹事会

日 時：平成 30 年 3 月 22 日（木）18:30～20:00

場 所：新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

出席者：福岡，渡部（直），稲葉，茂木，佐藤（壽），大矢，須江，徳間，福元，佐藤（博），
伊藤，古宇田，権田（13 名）

記 録：徳間

1. 各部会の進行状況

①総務（稲葉幹事長）

- ・開催要領，新技術展示・広告の募集について，会誌 3 月号へ投稿済みである。
- ・広告担当者は，山下副幹事長に依頼する。もう一人は，山下副幹事長が指名する。
- ・後援，協賛依頼先（県や他の協会等）は，協賛金など会計とリンクして進める。

②県民講演会（渡部副支部長）

- ・予定していた岸先生からキャンセルの申し出があった。
- ・後任として伊藤先生（農業経済）のお名前が上がった。まずは稲葉幹事長が打診する。
- ・山の暮らし再生機構理の山口理事長については，講演について承諾済みである（会誌 3 月号には山口理事長のみ掲載する）。

③特別講演（渡部副支部長）

- ・フォッサマグナミュージアムの竹之内館長補佐より，快諾を得ている。
- ・講演タイトルは，「地すべりからフォッサマグナの生い立ちを知る ―防災ツールとしてのジオパーク―」。

④受付

- ・報告事項なし。

⑤研究発表会（稲葉幹事長）

- ・幹事を通じてスタッフの募集の依頼を行い，現段階で 29 名のスタッフが集まっている。
- ・副座長については，最終的な発表件数が確定後に座長の人数がきまるので，その数を踏まえて決定する（6 月半ば頃を予定）。人選では，世代交代も踏まえて各社の中堅～若手を基本とする。

⑥意見交換会

- ・担当者欠席のため，報告事項なし。

⑦新技術紹介

- ・担当者欠席のため，報告事項なし。受付は 4 月 16 日からになる。

⑧現地見学（渡部副支部長）

- ・A コース（滝坂）：40 人募集。マイクロバス 2 台を見込んでいる。うち 1 台は北陸地方整備局が調達する。残る 1 台は実行委員会が調達する（観光バスの依頼）。
- ・B コース（糸魚川）：40 人募集。通行路が狭いため，小型バスに変更する可能性がある。その場合にはバス 2 台となる。宿泊先（ルートイン糸魚川）は仮押さえ済みである。

- ・Cコース（松之山）：募集人数を10名から15名に変更（3月号会告の内容から変更）。マイクロバス1台。まつだい駅で現地解散。今年8月に当該地域で大地の芸術祭があるため宿泊者等多数が見込まれるが、旅館は押さえている。宿泊費のディスカウントは難しいため、赤字が予想される。
- ・次回の幹事会にてA～Cコースの各担当者を決め、その後の準備作業を引き継ぐ。

⑨広報（福岡支部長）

- ・ポスター・チラシの作成を今後行う。6月中旬を目途に、ポスター・チラシに添付する写真を収集したい。デザインは印刷業者に依頼する。
- ・H29年長野大会の事例を含め、ポスター・チラシの発送先を確認する（各支部への配布等）。

⑩会計

- ・H29年度分の執行はまだわずかではあるが、決算を本部へ報告する。
- ・協賛金について、地質協会より10万円・斜面協会より15万円の了承をいただいた。両協会には半頁の広告掲載（無料）を依頼する。4月に入ってから支部長より各協会・団体に打診する。
- ・新潟観光コンベンション協会（新潟市）に続き、新潟県コンベンション開催費補助金についても、補助金対象の指定を受けた。参加者の住所情報（特に当日の参加者）を含めた名簿が必要となる。

⑪支部出版物 DVD

- ・学会出版委員会では、これまでの出版細則が古いため、改訂を行っている（著作権や出典引用等について整理することとなった）。
- ・H30年度より、シンポジウム資料等も出版委員会を通じて報告することになる。
- ・現在、支部で企画している電子化については、既存出版物の電子化（PDF化）であり、出版行為にはあたらない。また、これを新潟大会で配布することは、出版事業ではなくコピー配布の範疇になる。
- ・研究発表会の講演集はISBN取得の対象となるため、事業計画部に確認して進めることとする。

⑫特別セッション

- ・「線状降水帯による斜面災害」で決定し、事業計画部でも了承済みである。コンビナーは、土木研究所・国土技術政策総合研究所・森林研究整備機構などに依頼する予定である。コンビナーが決定次第、web上で募集案内をする。
- ・「英語特別セッション」の実施について福岡支部長より提案があり、承諾された。特別セッション担当小委員会が担当し、実行委員会学会は会場の手配のみとする。これに伴い、会場の部屋割り・確保について再検討が必要となる。
- ・特別セッションは上記の2テーマを含め公募となるため、事業計画部に今後の公募受付について確認する。

2. 来年度支部シンポジウムの内容

- ・テーマは「新潟および近隣地域における最近の地すべり災害」に決定済み。
- ・会誌3月号への投稿、関係機関への共催・後援の依頼済み。
- ・プログラム作成後、CPD認定行事として申請を行う。そのために、まずは講師とテーマを優先させる。
- ・特別講演は、静岡大学の土屋先生で進める。
- ・一般講演は、糸魚川地域2件（釜沢・真木；砂防分野と治山分野でそれぞれ発表）、滝坂1件、

近隣地域 2 件（富山，群馬・栃木方面）を目安とする。原稿締め切りは，例年 5 月の連休明け程度である。カラー印刷も OK とする。

- ・資料の印刷部数は，H29 年の実績を踏まえ 230 部程度とする。原稿取り纏めと印刷は佐藤副幹事長が担当する。
- ・会場関係と弁当手配は井藤幹事が担当する。

3. その他

- ・地すべり災害記録 CD の編集作業は，山下副幹事長により進行中。
- ・来年度は支部役員改選の年であるが，新潟大会の運営もあるため，転勤等の人事異動を除き，できるだけ今の体制を継続することとする。
- ・新年度に人事異動がある場合には，わかり次第，後任の氏名・連絡先を稲葉幹事長に連絡する。

次回日時

- ・平成 30 年 4 月 19 日（木）18:30～

場所：新潟大学災害・復興科学研究所 1 階 プレゼンテーションルーム

《議題》

- ・支部総会の議案書について
- ・研究発表会・支部シンポジウムの準備状況確認
- ・会誌 5 月号の原稿について